



制作者たちの名前は、タペストリーの巻軸に記されている。アルチンボルドが描いた8つの場面は、帯状に描かれた花や果物、曲線模様、そして「聖母マリアの死」(P65)などに見られる伝統的なグロテスク(グロテスク模様)で仕切られ、華やかに彩られた。中世とルネサンスの建築様式を思わせる庭で、楕に横たわる聖母を、悲しみにくれる使徒たちが囲み、その背景にはサンタ・マリア・デッレ・グラツィエ教会が見える。

「ヒメチヨウゲンボウ (*Falco naumanni*) と花のスケッチ」

水彩およびグワッシュ

ウィーン オーストリア国立図書館